

# 会創立 11 周年記念山行 「富士外輪山」

(報告) Kon

○日程：2017年10月7日～8日

○宿泊地：「観岳園キャンプ場」

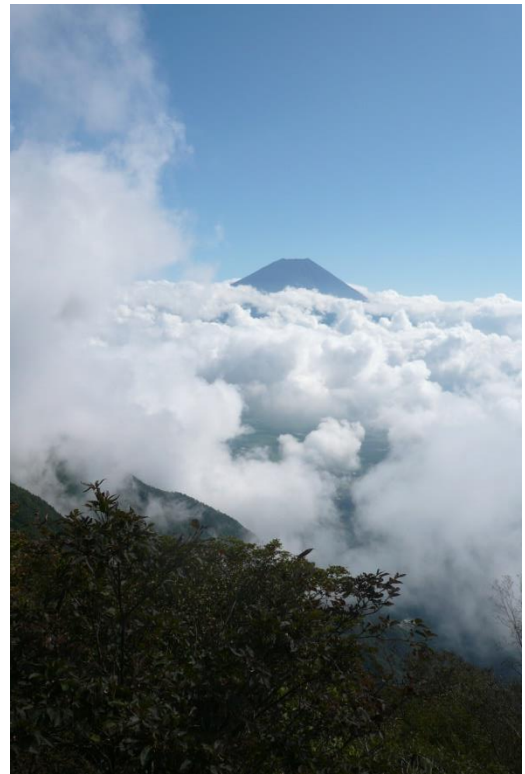
○登山コース及びメンバー：

<竜ヶ崎コース>：Fuji、Saka、Hagi、Nishi、Hoshi、Mitsu 計6名

<毛無山コース>：Aka、Kawa、Uchi、Fuku、Kon、Yaza、Kane 計7名

本年の創立記念山行は、西湖畔北岸の「観岳園キャンプ場」をベースにして、富士外輪山（竜ヶ岳、毛無山）で実施した。

富士山とその周辺の山々は、当会においても、四季を通じての富士登山や東海自然歩道などで広く親しまれているところであるが、広域的に分布する会員が比較的容易に集合できるエリアであること、希望に応じた多様な登山を受け入れてくれる余地があること、世界文化遺産にも登録され、登山以外の面でも内外の注目を集めているところであり、そうした面の一端に触れる機会にもなることなどを考慮して選択した。また、宿泊地の「観岳園キャンプ場」は、西湖畔北岸の真ん中に位置する地区にあり、都岳連の講習会などでもよく利用され、他のキャンプ場に比較しても施設が整っていることなどを考慮した。以下、創立記念山行の実施状況を報告する。



<毛無山 富士山展望台より> →

10月7日曇り

心配された天候も午前中は少し雨も残っていたが、何とか回復に向かっているようである。東京組は、AM8：00、阿佐ヶ谷駅にSaka、Nishi、Hoshiの3名が、AM8：30、八王子駅にAka、Kawa、Uchi、Fuku、Mitsu、Hagi、Kon、Fujiの8名が集合し、Saka、Fuku及びFujiの各車に分乗してそれぞれ出発して集合地である「谷村PA」に予定どおり合流。

河口湖に到着して、まず、キャンプ場では確保できないビール等酒類をKawaさんが、つまみ類を女性陣が「セルバ河口湖BELL店」にて調達し、今夜のBBQ（バーベキュー）にむけ

て万全の準備を整える。

少し早い11:00までに各自昼食を済ませることとする。昼食後、「観岳園キャンプ場」への集合時間までには、まだ、時間的に余裕があることから「富士山世界遺産センター」に見学に行く。同センター南館は2016年6月に開館している。入館すると「富岳360」という富士山を全方位からみられる巨大なオブジェがあり、富士の一日の時間の流れや季節の移りを照明で演出するという。

同館の係員から、富士山中腹の今も残る信仰の道「御中道」をイメージした御中道回廊を巡りながら、富士山を取り巻く独特の自然環境、信仰をはじめとした人々との交わり、富士山の歴史などを解説いただいた。東海チーム（Yazaさん、Kaneさん）との合流時間も迫り退館とする。

12:30「観岳園キャンプ場」に到着すると、既に東海チームは到着しており、早々にチェックイン、荷物をバンガローに運び入れ、再度、富士山探索に出発する。続いては、「富岳氷穴」である。入場に当たり団体割引を確認したところ15名からとのこと、Hoshiさんが咄嗟の人間力を発揮して、男女のカップルを引き込み合計15名として、割引料金で入場する。「富岳氷穴」は、青木ヶ原樹海の中にあり、入口の巨大な風穴の中へは階段が降りており、下るにしたがってヒンヤリとする空気が流れる。平均気温3度とのことである。昭和初期まで蚕の卵の貯蔵に使われていたという天然の冷蔵庫。天然記念物にも指定されているとのこと。見学コースでは、氷柱、溶岩棚、縄状溶岩などが見られた。

続いては「西湖コウモリ穴」であるが、コウモリは今は見られないとのことパス。隣の「奇跡の魚クニマス記念館」を見学。ギョギョギョのさかなクンの発見で有名なあのクニマスです。世界中で一か所だけ生息する湖が西湖とのこと、実際のクニマスや西湖の自然などの展示を見学した。



←観岳園キャンプ場にて→

見学も重なると食傷気味となり、一方でビールの誘惑にも勝てず、他の予定を省略して観岳園キャンプ場に戻る。BBQは、15:30予定であったが、早めに開始することに。とりあえずビールをとり出すと、ギョギョギョ、箱ごと全てノンアルコールビールで

ありました。視線は一斉にKawaさんへ。再度、ビール買い出しへ。

その間、東海チーム差し入れの豊橋名物のちくわやお酒などをいただき歓談。間もなく

BBQの準備も整いビールも調達できると、バンガローのウッドデッキにてBBQを開始。一人1500円とのことで食材が足りないのではとの心配もあったのですが、実際には、肉類は調理して翌日に持ち越し、野菜の大半と焼きそばのすべてを残してしまい全く余計な心配でした。

バーベキューを堪能し、気持ちの和らぐような残り火を囲み、またKawaさんのウクレレ演奏を楽しみながら、それぞれの近況などを語らい楽しい時間を過ごしました。明日の登山を踏まえ早めに就寝（20時）。

10月8日曇り時々晴れ



<毛無山への尾根道>

5:30起床としたが、5:00頃から、各自思い思いに起床。昨夜は雨が少し降り、今朝も曇りがちではあるものの悪くはない。ガスコンロにて湯を沸かし買い出しの味噌汁とともに各自持参の朝食をとる。

朝食後、荷物を整理してラジオ体操。竜ヶ岳パーティーは「Saka車」「Fuji車」に、毛無山パーティーは「Fuku車」「Yaza車」に分乗して出発（6:25）。

登山は、「竜ヶ岳パーティー」、「毛無山パーティー」とも、概ね7:00頃登山開始し、それぞれ、11:00、14:00頃に、無事、登山口に下山した。

竜ヶ岳は、朝陽によるダイヤモンド富士の景勝地。当日の登山では、終始、雲がかかり残念ながら富士は見られなかった。石仏までは全員一緒に登った。石仏前は、本来は富士の展望広場だ。しかし、富士は雲の中。協議の結果、Nishi、Hagi、Fujiの3名はここまでとすることに、健脚のSaka、Mitsu、Hoshiの3名は山頂を目指すことになった。石仏までとした3名はゆっくり休憩後、のんびり下り駐車場に下山したところ、健脚組の3名が丁度下山してきて、合流。ベンチでワイワイとランチ。

これよりSaka車組は帰路の渋滞が案じられることから、一足早く帰途に就き、Fuji車は毛無山組と合流のために「道の駅朝霧高原」に向かった。

<毛無山山頂への分岐>→





毛無山は、高低差が登山口から山頂まで1000m以上あり、塔ノ岳の大倉尾根に匹敵し、その距離は1/2で急登となる。登山口から1合目ごとに標識がある。当日の登山では、2合ごとに休憩をとり一定のペースを維持しながら登る。富士山は、終始、雲に覆われていたが、2合目では、高低差のある堂々とした「不動の滝」を、8合目の富士山展望台では、タイムリ



ーに雲の切れ間から高くそびえる富士山頂と裾野に広がる朝霧高原の展望を楽しむことができた。毛無山山頂には10：50全員無事到着。昼食をとり14：00には登山口に下山した。

←<毛無山山頂にて>

「毛無山」「竜ヶ岳」の各パーティーは、「毛無山」からは山頂から携帯電話で下山予定を、登山口に帰って「道の駅朝霧高原」集合予定等の連絡を行った。

帰路は各車それぞれとなる。乗車メンバーは、東京出発時のとおりとして、「Saka車」は竜ヶ岳登山後に、「Fuku車」は集合地の「道の駅朝霧高原」のPAが一杯で駐車不能となり合流できず。「Fuji車」は、「道の駅朝霧高原」にて、「Yaza車」に合流して同乗していたKonを収容。東海チームと再会を期してそれぞれ帰路に着き、創立記念登山を終了した。

今回の山行のキーとなる車の提供を頂きましたSakaさん、Fukuさん、Yazaさん、Fujiさん有難うございました。また、Fujiさんには二度の下見にお付き合いを頂き有難うございました。感謝です。

<毛無山 富士山展望台より>←

<山行記録>

10月7日（土）

8：00Saka車は阿佐ヶ谷駅を、8：30「Fuji・Fuku」車は八王子駅を出発～谷村PA～「セルバ河口湖BELL店」～昼食（～11：00）～「富士山世界遺産センター」（～12：00）～12：30「勸岳園キャンプ場」東海チーム」と合流

（～13：05）～「富岳氷結」～「奇跡の魚クニマス記念館」～14：30「勸岳園キャンプ場」

10月8日（日）



5:30起床～6:25「勸岳園キャンプ場」出発～竜ヶ岳へは「Saka車」「Fuji車」、毛無山へは「Fuku車」「Yaza車」に分乗。＜竜ヶ岳班＞7:00登山口～竜ヶ岳～11:00登山口、＜毛無山班＞7:00登山口～10:50毛無山山頂～14:00登山口